

ものであつて自己の過失、怠惰に因るものは九牛の一毛にも足りない。而も之等の失業に逢着した場合、労働者は果して何處に職を求むべきか、不景氣襲來の場合の失業などになるが、それが一般的であるだけに何處へ行つても労働者の多過ぎる處はあつても新規に募集するといふ處はなくて、口を探すのに一入の苦心をするが假令そうした場合でなくとも労力は資本とは異ひ、収益の有無に従つて自由に之を移すといふ譯には行かない。何ぞなれば第一彼れには手續された種類以外の仕事に就く事は困難であるし第二には假令轉業が容易であるとしても家族の關係やら上着の關係などがかつてオイソレと轉じて行けるものではない。若し失業者にして長く職に就く事能はずとせば彼れは餓死するが然もなくば盜みをする外に道はないのである。失業問題の解決は何よりも急務と云はなければならぬ。

産業組織の缺陷

然らば之等の産業社會の悲劇を惹起する原因は、何處にあるかといふに夫れは云ふまでもなく産業組織の上に缺陷があるからである、産業組織の缺陷とは何ぞや、曰くその一は賃銀制度、その二は資本主義。

▼ 賃銀制度

若し之れが奴隸であつたらば問題ではない。何となれば奴隸は何等の自由をも有してゐなかつたけれど兎も角も最少限度において衣食住を得る事を雇主に保證されてゐたからである。然るに今日の勞